

日本地域福祉学会 第30回記念大会

テーマ コミュニティの持続可能性の危機と地域福祉のイノベーションを探る



日本社会事業大学アガベの像

期日 2016年 6月11日・12日

会場 日本社会事業大学
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30

事務局 日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 菱沼幹男研究室
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30
大会事務局メールアドレス jracd30@gmail.com

大会長 大島 巖(日本社会事業大学 学長)
大会実行委員長 宮城 孝(法政大学現代福祉学部 教授)

主催/日本地域福祉学会、
日本地域福祉学会第30回記念大会実行委員会
後援/日本社会事業大学、清瀬市、全国社会福祉協議会、
全国社会福祉法人経営者協議会、
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、
東京都社会福祉協議会、埼玉県社会福祉協議会、
千葉県社会福祉協議会、神奈川県社会福祉協議会

1. 日程

6月11日(土)		6月12日(日)	
10:00	開会式	9:30	自由研究発表
10:40	優秀実践賞表彰式		ポスター発表
11:20	基調討論		研究委員会シンポジウム
13:40	優秀実践賞報告会	15:45	閉会式
	セッションⅠ, Ⅱ, Ⅲ	16:15	終了
17:10	総会		
18:30	情報交換会		
20:00	終了		

※6月10日(金)には日本地域福祉学会30周年事業として、全国社会福祉協議会との共催により、国際地域福祉シンポジウムが難尾ホールで開催されます。

2. プログラム内容

基調討論 6月11日(土) 11:20~12:40

コミュニティの持続可能性の危機と地域福祉のイノベーションを探る -最前線の現場から-

- コーディネーター：宮城 孝 氏（大会実行委員長・法政大学現代福祉学部 教授）
- 発題者：米山 恵子 氏（NPO法人フードバンク山梨 理事長・全国フードバンク推進協議会 代表）
東内 京一 氏（和光市保健福祉部 部長）

セッションⅠ 6月11日(土) 13:40~17:00

地域包括ケアシステム形成に向けた地域福祉の視点と役割 -2025年までに何ができるか？-

- コーディネーター：神山 裕美 氏（大正大学）、松永 文和 氏（神奈川県社会福祉協議会）
- 発題者：柴崎 光生 氏（NPO 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 会長）、山本 信也 氏（宝塚市社会福祉協議会地域福祉部地区担当課 課長）、平原 佐斗司 氏（東京ふれあい医療生活協同組合 副理事長）、猪飼 周平 氏（一橋大学大学院社会学研究科 教授）

セッションⅡ 6月11日(土) 13:40~17:00

生活困窮者の自立支援とコミュニティソーシャルワーク

- コーディネーター：山本 美香 氏（東洋大学）、熊田 博喜 氏（武蔵野大学）
- 発題者：朝比奈 ミカ 氏（中核地域生活支援センターがじゅまる センター長）、大山 典宏 氏（社会福祉士）、品川 卓正 氏（社会福祉法人村山苑 理事長）、三浦 辰也 氏（NPO 法人インクルージョンセンター東京オレンヂ 副理事長）

セッションⅢ 6月11日(土) 13:40~17:00

社会福祉法人改革と社会開発

- コーディネーター：中島 修 氏（文京学院大学）、澤 徹之 氏（埼玉県社会福祉協議会 事務局次長）
- コメンテーター：小林 良二 氏（東洋大学）
- 発題者：浦野 正男 氏（社会福祉法人 中心会 理事長）、谷口 郁美 氏（滋賀県社会福祉協議会滋賀の縁創造実践センター所長）、柏木 克之 氏（社会福祉法人 一麦会 執行理事）、忽那 ゆみ代 氏（社会福祉法人 いずみ保育園 理事長）

研究委員会シンポジウム 6月12日(日) 9:30~12:00

地域福祉実践理論研究の検証 その1 ~三鷹市・都城市・茅野市における調査研究をもとに~

- コーディネーター：市川 一宏 氏（ルーテル学院大学）
- コメンテーター：牧里 每治 氏（関西学院大学）
- 報告者：室田 信一 氏（首都大学東京）、永田 祐 氏（同志社大学）、菱沼 幹男 氏（日本社会事業大学）